

2004.9



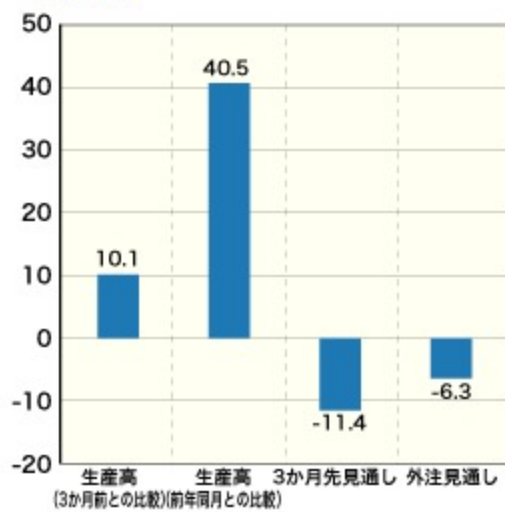
生産高の前年同月比は依然として増加となっているが、3か月前比を見ると増加はしているものの、前回調査結果(7月末時点)と比較すると20ポイントほど数値的には低くなっている。また、3か月先見通し及び外注見通しについては、前回プラスであった結果がいずれもマイナスに転じており、先行き不透明感が表れてきている。

● **生産高** 3か月前比では、前回50ポイントほどD I値がプラスであった「一般機械器具」「プラスチック」がマイナスに転じており、上昇傾向に陰りが見え始めている。しかし、前年同月比で見れば、「プラスチック」「縫製」以外の業種では依然として大きくプラスの状態が続いている。

● **3か月先見通し** 前回調査結果でマイナスの見通しであった「鉄鋼・非鉄」「輸送用機器」が若干のプラスに転じており、持ち直し傾向が見られる。しかし、それ以外の業種については、総じてマイナスもしくは横ばいとなっており、明るい見通しの業種は少なくなっている。

● **外注見通し** 前回、横ばいもしくはプラスであった「一般機械器具」「金属」「縫製」「電気機器」の4業種がマイナスに転じており、前述の3か月先見通しの結果も踏まえると、前回までの良好なアンケート結果から一転して、不安感が募る結果となっている。

■ 全業種



■ 各業種

